

令和2年度

学校関係者評価報告書

(根拠法令)学校教育法第42条及び第43条

学校法人 薬師の杜学園
山形美容専門学校

令和2年度 学校関係者評価報告書

令和2年度 学校関係者評価委員会

開催日時：令和3年3月5日(金) 10:00~12:00

会場：山形美容専門学校 1階 OA室

出席者：〔外部委員〕小幡 知之(山形工科短期大学校 学校長)

鈴木 啓司(元山形県私立学校総連合会 事務局長)

赤塚 昭彦(美容室経営者)

〔委員〕志田俊雄(理事長)、高橋朝子(校長)、齋藤明子(教頭)、

小山利夫(事務局長)、小鹿美香子(事務主任)、小林さとみ(教務主任)

計9名

実施方法：外部委員に自己評価報告書を通覧いただき、意見等を聴取した

表記：外部委員等から指導・助言いただいた事項について、改善した部分に☆の表示をした

— 評価項目毎の学校関係者評価・意見 —

項目1 教育理念・目標・育成人材像

- ☆ 探求型のコース別カリキュラムの導入は、社会のニーズに合致しており、大変良好である。
- ・ 探求型のコースは美容業の受け入れ側の立場からすると、即戦力につながってくるのでありがたい。実践に近い授業を期待する。

項目2 学校運営

- ・ 評議員の人数が多く、一人一人の意見をもらうのが難しいので、人数の削減の検討をする。
- ・ 令和元年度の学校関係者評価委員会での意見で、運営組織に関わる役員の選出に当たって、学校運営の理解を深めて頂けるように事前会議を行ったほうが良いとあったので、今年は役員改選時にあり、是非取り入れて行きたい。

項目3 教育活動

- ☆ サロン実習の導入について、就職してから雇用側と働く側の考えの相違をなくするためにも大切と考えるため賛成である。
- ・ 2年間で身に付けられる事には限りがあるため、現場ですぐ役立つ人材づくりは理想だが、本校では基礎教育を重視したい。そして、確実に国家資格等を取得できるようサポートしていく。

項目4 学修成果

- ・ 就職率は100%を維持して来たが、今年度は新型コロナウイルスの影響で2月時点内定していない学生が数人いる。全員決まるまで根気強くサポートしていきたい。
- ・ 退学者をできるだけ軽減できるように努力しているが、目的を明確に持たずに入学して来た学生が、退学へつながってしまう例が少なくない。→学校のみならず企業(サロン)も同じだと思う。入る前に高校の進路指導教諭との連携やHP等の情報発信を通して丁寧な説明が必要と考える。

項目5 学生支援

- ・ 学生相談や必要に応じて保護者との面談を適宜行っているのは良い。面談の際学生、保護者のプライバシーにも配慮した場所・時間などを確保したほうが良いのではないか。→ 場所も個室を用意したり、時間帯も皆が下校した後にするなど対応している。
- ☆ 学生との良好なコミュニケーションを図るため、問題を抱えている学生だけでなく、担任がクラス全員と面談する機会を増やしている。→そのことで、小さな問題でも大きな問題になる前に未然に防ぐことにつながると考える。

項目6 教育環境

- ・ 校舎を改装して15年経しているため、施設や設備が不具合や不調をきたしている。経営面から、短期間に修繕等を施すことは困難であるが、理事会等において優先度を見極め、計画的に執行してゆきたい。
- ・ 防災体制をマニュアル化し、火災の訓練だけでなく地震など色々なパターンの対策を講じてゆく必要性を痛感している。

項目7 学生の受入れ募集

- ・ 学生への働きかけはしているようだが、高校への訪問等はどのようにしているか。→高校の進路指導部にアポイントメントを取り訪問するなどして、適宜イベントのお知らせや入試制度概要の説明など実施している。

項目8 財務

- ・ 現状は、特に問題なし。適正であると認識している。

項目9 法令等の遵守

- ・ 法令等の遵守は当然の義務である。これからも、理事や学校教職員等に対し、会議などの機会を活用し周知徹底を図ってゆく。

項目 10 社会貢献・地域貢献

- ・ コロナ禍の中、ボランティア活動をすることは難しい年度だったが、今後感染状況が収まったら、引き続き社会・地域貢献できるような環境を整える。

その他

今年度新型コロナウイルス感染予防対策として、学校で取り組んだこと。

〈主なものを掲載〉

- ・ 登校前の検温の指導、健康観察（登校後検温カードに記入）
- ・ マスク着用の徹底
- ・ 手指消毒の徹底
- ・ 教室の換気
- ・ 下校後の机、椅子、手の触れる場所の消毒
- ・ 学生全員にアルコール入りウエットティッシュを渡し消毒を心掛けるよう指導
- ・ 必要に応じて職員がフェイスシールド着用
- ・ 県外への移動制限を促す
- ・ オンラインでの講演や講義

以上の取り組みの結果、学生、教職員共一人の感染者が出ていない。

（令和3年3月5日時点）

所見

今回の学校関係者評価委員会には外部委員として再任された鈴木氏と小幡氏からは前回までの経緯を踏まえた意見を頂戴できた。今回から新任の赤塚氏からは、美容室経営の立場からの意見を述べて頂けてとても参考になった。

今年度は、新型コロナウイルスが蔓延したこともあり、評価にも影響が出た項目があったが、コロナ禍の中においてもでも学生の安全な生活の確保、学ぶ場を狭めない努力をしていきたい。

「学校関係者評価委員会」を立ち上げて3年になるが、改善しているところも増えてきている。

また、改善するには、時間や多大な経費を要するものもあるため、着実かつ計画的に進めていきたい。